

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 復興期の心構えについて	社協主催の女川町福祉推進大会での一場面。コーディネーター（東北福祉大学の助教）が、若い女性のパネラーに「これからどのような支援が必要ですか」と尋ねた時、彼女は何か違和感を覚えたように少し考えてから、「その必要はない」と答えました。
	大震災から2年9カ月、若者は一生懸命、自立を目指して生存競争の真ただ中にいる。
	支援に辟易している。
	福祉の心がよく理解できない、いや、それどころではないんだという思いのようです。
	本町が復興期へ突入しようという時点で、どのような心構えが大切なのでしょうか。子どもたちは支援いただいた事を大切に思い、その上で自立心をか
	ん養していく必要があると思いますが。
	(質問の相手：教育長)
2 財政について	“小さくともキラリと輝くまち”を標榜し、それを着実に実現してきた財政基盤があり、町民各位がそれなりに小さな幸福を享受してきた本町、しかし
	大震災により一人ひとりの町民は基より、町の存立
	そのものも大きく脅かされてしまいました。そして

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	町財政についても厳しい状況が考えられます。
	そこで以下について伺います。
	(1) 本年度から交付団体になりましたが、今後5
	年程度の交付税はどのように見積もっています
	か。2,000人以上の人口減による減額は。
	また、交付税総額が国の財政事情で圧縮され
	ていると思うが、臨時財政対策債（一般会計債
	務の半分）は大丈夫ですか。
	(2) 小さいサイフから大きなサイフへの移動は100
	億円余の基金の推移をチェックすれば分かり易
	いと思うが、平成30年度の復興終了期までどの
	位と見積もっていますか。
	(3) 震災以前、作成してきた財政計画は必要だと
	思いますが、どのように考えていますか。
	震災復興という大事業は確実に行わなければ
	ならないが、その為にも、より長期的に財政情
	報の提示は大切だと思います。
	また、行財政改革は不断に実施することが肝
	要だと考えますが。
	(質問の相手：町長・担当課長)